

令和 8 年度 入試用

進学説明会資料

1 学校長あいさつ

2 進学の説明

- ① 受験校（受検校）の決定
- ② 進学に関する流れ
- ③ 専修学校、私立高校、公立高校、国立高専・国立高校、定時制高校などの入試

令和 8 年 10 月 28 日（水）
大府市立大府北中学校

0 進学するという事は…

- 1 学習すること
 - * 義務教育よりさらに高度な知識を得る。
- 2 高等学校卒業資格や特別な資格を得ること
 - * 大学受験資格を得る。
 - * 専門知識や技術を取得する。

1 受験（受検）校の決定について

(1) 学校選択

①進学の目的

- ・自分の将来の目標に適している。
- ・自分の目的に必要な資格を得ることができる。
- ・自分が活動したい部活動がある。

②上級学校入学後の見通し → 充実した高校生活を送ることができる学校

- ・単位が取れないと留年の可能性がある。3年間続けられる見通しが必要。
- ・中途退学すると、再入学が困難である。
- ・学科やコースによって、目標や授業時間・内容、部活動への参加が異なる。

③上級学校卒業後の見通し

- ・目指す方向（就職するのか、進学するのか）を定める。

④その他

- ・上級学校の雰囲気と自分との相性。（説明会や体験での印象）
- ・必要になる費用。（入学金、授業料、教科書代や制服代、通学にかかる費用など）
- ・学習以外の活動の様子。（行事や部活動、ボランティア活動など）
- ・通学時間。（3年間通学することを考えて）

(2) 受験（受検）する学校の組み合わせ

- ①私立高校や専修学校のみ。（推薦での受験など）
- ②公立高校のみ。（定時制高校、通信制高校の受検を含む）
- ③公立高校との併願。

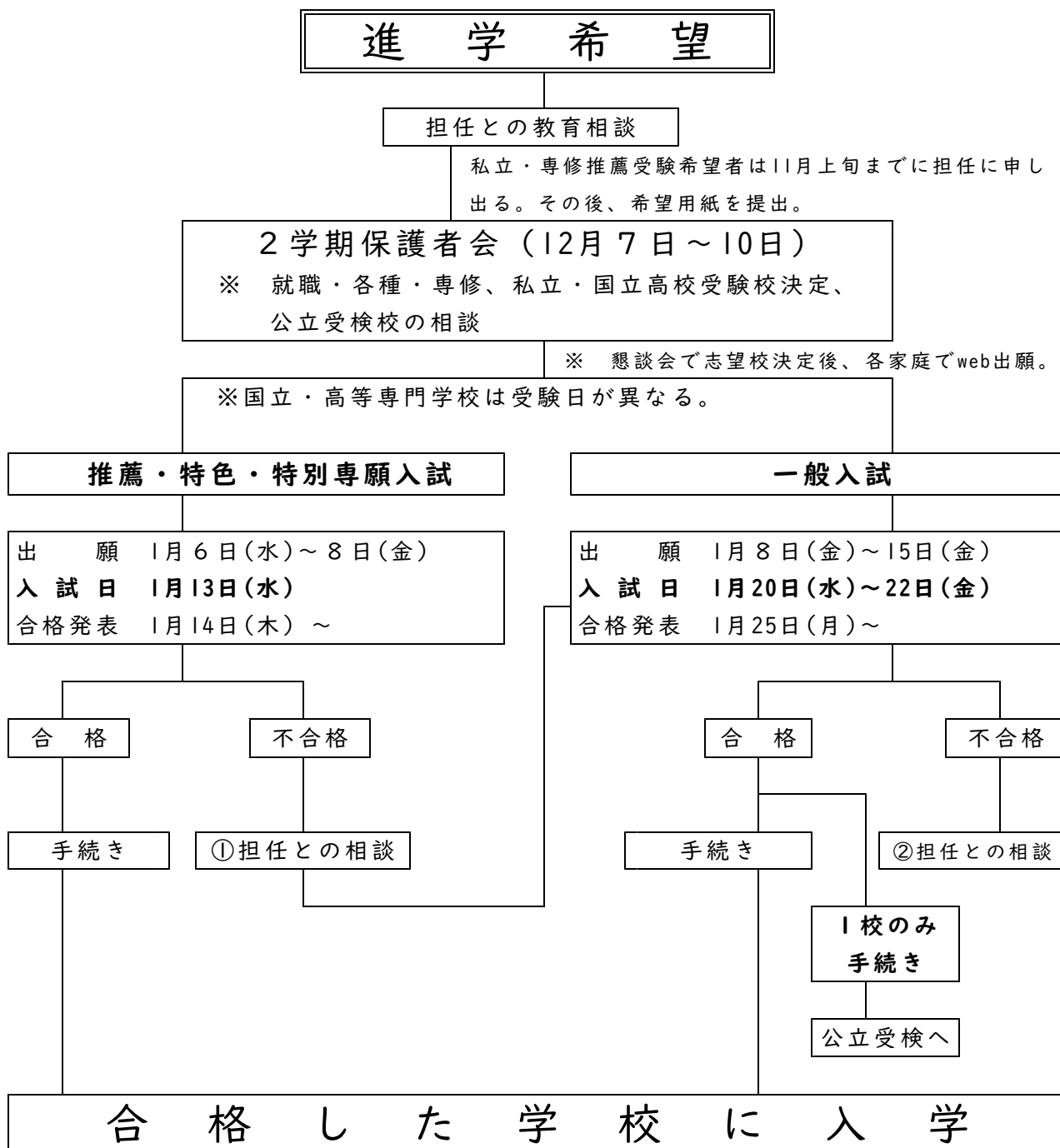
（私立高校、専修学校、国立高校、高等専門学校などを受験）

※ 最終的に進路先がなくなる可能性があるような選択をしない。

(3) 家庭の援助

- ①子どもと一緒に考え、よりよい進路先の決定をお願いします。
- ②保護者の価値観だけでなく、人生の先輩としてのよきアドバイスをお願いします。
- ③担任とよりよい相談を重ね、子どもが安心できる環境づくりをお願いします。

2 進学に関する流れ（各種・専修学校、私立高等学校）



①推薦・特色・特別専願入試で不合格となった場合、まだ出願に間に合う高校・専修学校を探し、一般入試を受験することになります。

②一般入試で合格校が1校もない場合、そのまゝの状態ですぐ公立高校のみを受検することになります。

※出願等の日程は、私立高校のものです。各種・専修学校については、学校ごとに異なるため、各校の募集要項等で確認する必要があります。

3 各種・専修学校（高等課程）

（１）推薦入試

- ・その学校を第１志望校とし、下記の条件に合う生徒が推薦となります。合格すれば必ず入学することが前提になります。

- ①その学校の示す推薦の目安（人物・学力・欠席日数等）を満たしていること。
- ②校内進路指導委員会で推薦を認められ、中学校長の推薦を受けた者。

- ・当日の受験態度や試験結果（学力テストや作文など）がよくなかったり、面接の結果がよくなかったり（頭髪・服装に問題があるなど）すると、不合格になることがあります。

（２）Ａ・Ｏ入試、特別専願、自己推薦入試

- ・Ａ・Ｏ入試や特別専願入試は、第１志望校だが、欠席日数などにより推薦の目安を満たすことができない場合などに受験します。
- ・自己推薦入試は、一部の専修学校で行われます。校長推薦を必要としていないため、当日の試験結果や調査書などで判断されます。校長の推薦を必要としていないため、推薦入試より不合格になる可能性は高いです。

（３）一般入試

- ・公立や他の私立・専修学校も受験しようとする生徒は一般受験となります。
- ・一般入試を予定していても、推薦入試で定員が満たされれば、一般入試を実施しない学校、学科もあります。また、募集期間中であっても、定員が満たされれば、募集を締め切る学校もあります。一般入試そのものを実施しない学校や他の学校との併願を認めていない学校もあります。
- ・一般入試にも、公立や他の私立・専修学校も受験しようとする「一般併願」と、志望する学校のみ受験する「一般専願」（一般単願という学校もある）があります。一般専願は、欠席日数など専修学校が求める人物像に合わず推薦入試で受験できない場合に、推薦入試で受験するのと同様の判断をされます。近年では、特別専願入試に変更されている学校が多いです。しかし、金銭的な事情など諸事情があるため、一般専願の受験方法も残されています。
- ・可否は調査書・入学試験・面接などを総合的に判断し、決定されます。
- ・合格発表後、期日までに入学手続き（入学金、または一般入試で併願を認めている学校は入学一時金の納入）を行わないと、合格が取り消されます。

入試科目・入試日程・出願時期など学校によって異なりますので、各学校の募集要項をよく読んでください。

（４）その他

- ・専修学校に進学を希望する場合は、できるだけ体験入学に行くことをお勧めします。
- ・登校に向けた支援が必要な状況など学校生活に不安がある場合は、専修学校の事前面談を受けていただき、その学校に通学し生活を送ることが可能かどうか判断していただきます。

4 私立高等学校

(1) 推薦入試

- ・その学校を第1志望校とし、下の条件に合う生徒が推薦となります。合格すれば必ず入学することが前提になります。

- ①人物が優秀であること。(欠席日数が少ない、生活態度が安定しているなど)
- ②その高等学校の示す推薦の目安にあっていること。
- ③中学校の校内進路指導委員会で推薦を認められ、中学校長の推薦を受けた者。

私立高校や専修学校、国立、高等専門学校[※]の推薦入試受験希望者は、進学説明会以後に担任へ口頭で申し出て、推薦希望書をもらい、11月16日(月)までに担任に提出して下さい。

12月3日(木)に、校内進路指導委員会で検討し、その結果を12月4日(金)に生徒へ伝えます。

伝え方は「推薦で受験してください」もしくは「一般で受験してください」のどちらかになります。

これ以上の詳細は伝えることはできません。このことをご理解の上で申請をしてください。

- ・次の高等学校は、推薦入試を実施していません。

愛知淑徳、金城学院、南山 … 6か年一貫教育のため、推薦・一般入試のどちらも生徒募集はありません。

東海・滝 ……………… 全て一般入試です。

(2) 特色入試

- ・一部の私立高校で行われている入試の方法です。
- ・一般的な推薦入試と異なり、中学校長の推薦を必要としない推薦入試になります。ただし、第一志望校になるため、合格した場合は必ず入学することが前提です。
- ・一般的な推薦入試とは異なり、各学校によって受験できる条件が異なります。そのため、受験意思がある場合は、早めに意思を示し、事前に高校の面談を受けなければならない場合もあります。この受験方法を利用したいと考えている場合は、早めに担任に相談してください。
- ・試験内容も、高校によって異なります。プレゼンテーションや実技を行う学校もあるため、前もっての準備等が必要になります。

【 特色入試実施校 】

- | | | | |
|--------------|------------|-----------|----------|
| ①愛知工業大学名電高校 | ②桜花学園高校 | ③東邦高校 | ④星城高校 |
| ⑤名古屋経済大学市邨高校 | ⑥大同大学大同高校 | ⑦享栄高校 | ⑧菊華高校 |
| ⑨中京大学附属中京高校 | ⑩愛知黎明高校 | ⑪豊川高校 | ⑫名古屋国際高校 |
| ⑬名城大学附属高校 | ⑭修文学院高校 | ⑮清林館高校 | ⑯愛知啓成高校 |
| ⑰日本福祉大学付属高校 | ⑱大成高校 | ⑲杜若高校 | |
| ⑳愛知産業大学三河高校 | ㉑中部大学第一高校 | ㉒聖カピタニオ高校 | |
| ㉓椙山女学園高校 | ㉔同朋高校(音楽科) | (㉕黄柳野高校) | |

(3) 一般入試

- ・公立高校が不合格の場合、私立高校へ進学することになります。私立高校を選択する際は、進学先候補の1つとして真剣に考えて下さい。
- ・合否は調査書・入学試験の結果などで決定されます。一般入試における調査書の取り扱いは、高校によって異なり、当日の試験結果を重視する高校もあります。ほとんどの高校で、面接はなくなりました。(面接を実施する高校もあります)
- ・日程を考えると、3校の受験が可能ですが、無理に受験をする必要はありません。
- ・入試科目や入試方法(記述式やマークシートなど)は、高校によって異なりますので、各校の募集要項等で確認をしてください。
- ・高校によっては、転科合格や転コース合格などがあり、希望するかどうか選択する場合があります。

一部の私立高校で、「A方式」とよばれる、「この私立高校に合格したら、必ず入学する。」という方法をとっている学校もあります。

過去に「公立が第1志望なのに、私立高校をA方式で受験をし、合格した」ということがありました。この場合、A方式で受験し、合格しているので私立高校に入学することになり、公立高校は受験できなくなるため、注意が必要です。

(4) 私立高校受験日一覧

- ・推薦入試、特色入試…令和9年1月13日(水)
- ・一般入試…以下の3日間で行われます。

1月20日(水)	1月21日(木)	1月22日(金)
瑞穂 桜花 菊華 享栄 星城 名電 大同 名古屋 誉 滝 たちばな 誠信 愛産大三河 城西 杜若 豊田大谷 桜丘 名古屋国際 市邨 椋山 愛知啓成 中部大第一	高蔵 同朋 東邦 日福 大成 清林館 安城学園 中部大春日丘 豊橋中央 人間環境岡崎 栄徳 東海 名古屋工業 名古屋大谷	至学館 中京 東海学園 光ヶ丘 名城 愛知黎明 藤ノ花 啓明 聖霊 聖光 ^ニ タニオ 修文 愛知 名古屋葵 豊川

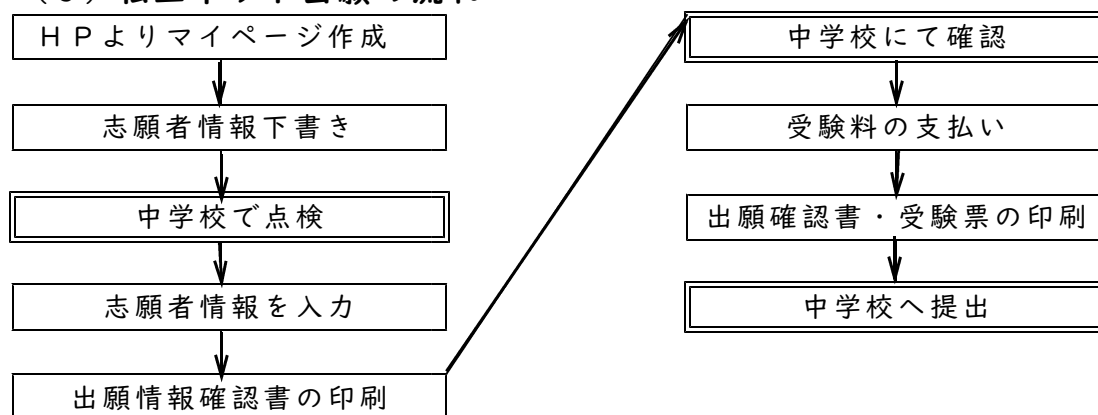
※ 略称で記載している学校があります。注意をして下さい。

※ 黄柳野高校については、第1回(1/23~24)、第2回(3/21~22)、第3回(3/30~3/31)の予定です。

※ 愛知淑徳、金城学院、南山については推薦・一般の募集はありません。

※ 東海、滝については推薦の募集はありません。一般のみの募集です。

(5) 私立ネット出願の流れ



※高校によって多少手続きが異なります。中学校で事前指導を行う予定ですが、募集要項等をしっかり見て間違えないようにしてください。

※中学校での確認が終わる前に受験料を振り込むことがないようにお願いします。

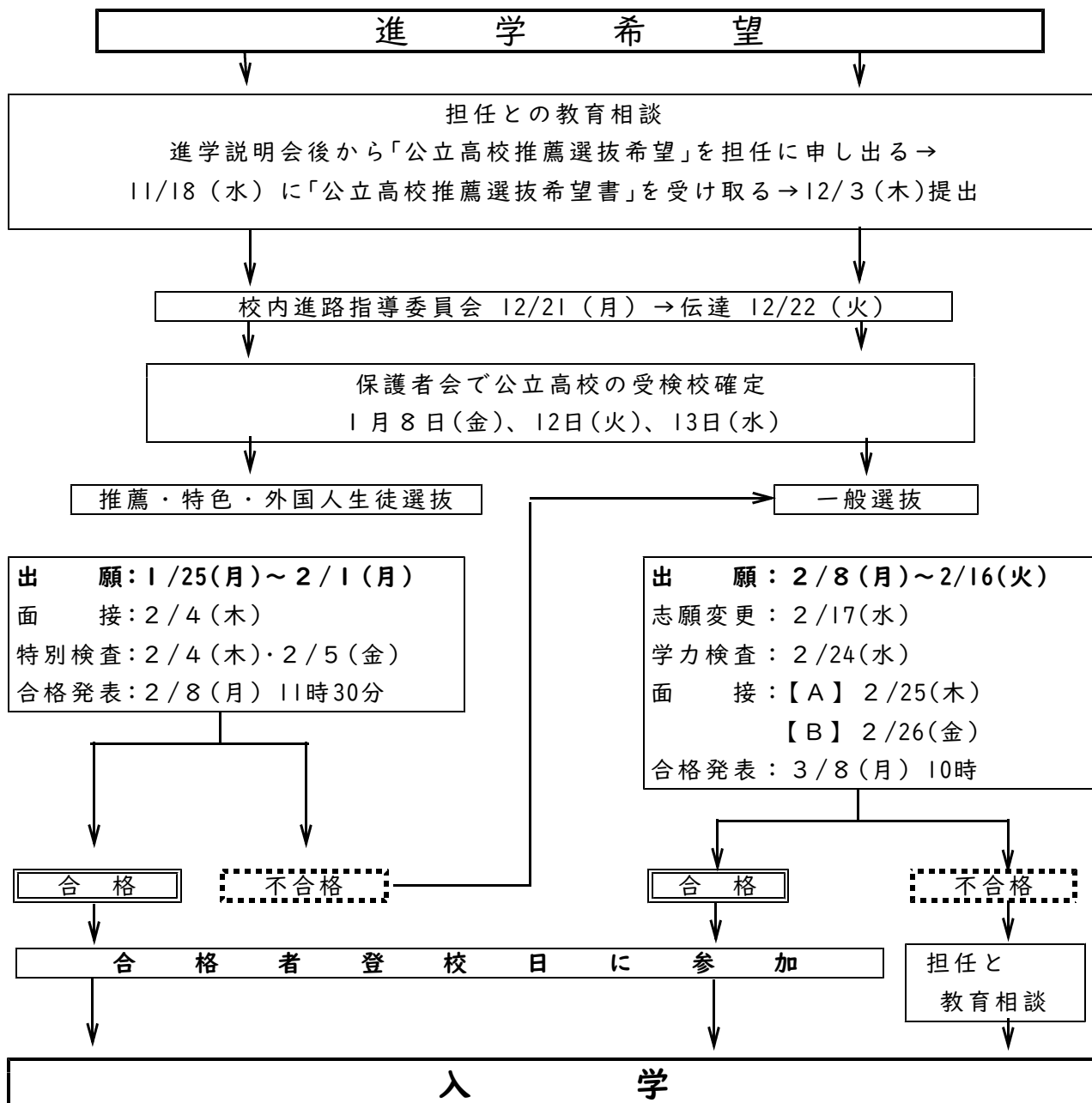
※すべての私立高校でWeb出願になりました。Web出願の方法は採用されている業者で異なるため、募集要項をしっかりと確認してください。入力の方法や操作がわからない場合は、要項に示されている業者のサポートセンターに問い合わせをしてください。

※高校のHPをネットで検索をして出願をされるときに、出願する高校を間違えないようにしてください。特に「中京大学附属中京高等学校」を岐阜県にある「中京高等学校」と間違えることが多いです。出願し、入金をしてしまうと受験料は返金されません。

※募集要項にある出願期間は、中学校からの提出書類があるときのものです。東海高校を受験する生徒は、印刷した願書を郵送するため、この期間までに書類をそろえて中学校から郵送します。それ以外の高校への出願は、原則、生徒が行わなければならない内容は12月中に終了します。

※受験票の印刷可能期間は、高校によって異なります。印刷可能になった時点で印刷をして、担任に提出してください。

5 公立高等学校（進学に関する流れ）



6 公立高校

（1）推薦選抜

推薦選抜の募集定員は、募集人員の10～15％程度です。ただし、全日制単位制高校においては、該当する高等学校の学校長が30～45％程度とすることができます。専門学科・総合学科は、募集人員の30～45％程度です。また、一部の高等学校には「ウ」による推薦がありません。「イ」についての合格者数は、すべての学科で募集人員の、おおむね5％となります。

- ・原則その高校を第1希望とし、下記の「出願資格」に合う生徒が推薦となります。合格すれば、一般選抜を受検する必要はなくなります。
- ・合否の判定は、提出される書類（調査書・推薦書など）の内容、及び、面接や特別検査（美術科、音楽科などを受検する場合）などの結果を資料とし、下記の「推薦基準」に基づいて、総合的に行われます。

出 願 資 格

下記の条件を満たすもので、校内進路指導委員会で推薦を認められ、中学校の校長の推薦を得た者。

【普通科】

- ・令和9年3月に中学校を卒業する見込みの者であること。
- ・原則として保護者とともに県内に住所を有する者。
- ・普通科を志望する意志が強く、志望の動機・理由が明白・適切であること。
- ・人物及び学習成績が優れていること。

【農業、工業、商業、水産、家庭、看護、福祉、理数、音楽、美術、体育、外国語、国際関係に関する学科及び総合学科】

- ・令和9年3月に中学校を卒業する見込みの者であること。
- ・原則として保護者とともに県内に住所を有する者。
- ・当該学科を志望する動機・理由が明白・適切であること。
- ・当該学科に対する適性及び興味・関心を有すること。
- ・人物及び学習成績が優れていること。

推 薦 基 準

下記の条件（ア～エ）のいずれかを満たすもので、校内進路指導委員会で推薦を認められ、中学校の校長の推薦を得た者。

- ア **人物が優れており**、運動、文化、芸術、奉仕活動等の諸活動（特別活動及び総合的な学習の時間における活動を含む）のいずれかにおいて優れた能力・適性及び実績等を有する者。
- イ **人物が優れており**、恵まれない環境を克服し、向学心に富み、生活態度が他の模範となる者。
- ウ **人物が優れており**、調査書情報の「学習の記録（評定）」が優秀で、学習活動において他の模範となる者。
- エ 将来、農業または水産業に関する職業に就く、もしくはその後継者となる意志を有する者。（農業または水産業に関する学科の志願者のみ）
- ※ 「**人物が優れている**」というとらえ方は、欠席、遅刻、早退がほとんどなく、さまざまな場面で他の模範となりうるような生活態度及び人物であることを意味します。

出願登録期間	令和9年1月25日（月）～2月1日（月）
受検票ダウンロード期間	令和9年1月25日（月）～2月1日（月）
面接実施	令和9年2月4日（木）
特別検査	令和9年2月4日（木）・5日（金）（検査予備日）
合格発表	令和9年2月8日（月）11時30分

※特色選抜、外国人生徒等選抜、全日制単位制選抜・連携型選抜と併願することはできません。

- ① 「推薦選抜」の申し出は、本人または保護者からの申告制です。中学校からは本人・保護者へのはたらきかけをすることはありません。そこで、大府北中学校では、「推薦選抜」志願者について、以下の流れですすめていきます。

- 1 第4回進路希望調査で「公立高校推薦選抜」受検希望の意志を示す。
- 2 11月18日（水）帰りのST後に「公立高校推薦選抜希望書」を受け取る。
- 3 12月3日（木）朝のSTまでに、公立高校推薦選抜希望書を提出。
（メ切厳守）
- 4 12月21日（月）の校内進路指導委員会で検討し、校内推薦者を決定する。
「人物が優れ、選抜基準を満たしているかどうか」で判断し、最終的に中学校長が決定をします。
- 5 12月22日（火）に伝達をします。

※推薦選抜実施要項については、すでに各高校のHPにアップされています。

② 注意事項

- ・公立高校推薦選抜希望書のメ切は、厳守です。
- ・提出にあたっては、記入もれ（推薦基準「ア～エのどれなのか」、生徒氏名、保護者名や押印など）がないようにお願いします。
- ・推薦の希望をするためには、高校が示している実施要項の項目に該当する必要があります。必ずどの項目に該当し、該当する表彰記録や資格などを明記してください。該当するものがない場合には、推薦の基準にあてはまりません。
- ・推薦基準の「イ」を希望する場合は、必要書類（巻末資料参照）を提出してください。この資料によって、該当するか判断します。父母双方の書類が必要になります。該当し、推薦選抜を受検できる場合は、この書類を出願時にアップロードしていただきます。ただし、出願時に書類の有効期限が切れてしまう場合は、新しい書類を取得し直していただきます。
- ・希望は一人1校1学科のみです。

※公立高等学校「推薦選抜」希望者に対して進路指導委員会の結果を12月22日（火）に伝達します。その際の伝え方は「推薦で受検してください。」もしくは「一般で受検してください。」のどちらかになります。これ以上の詳細は伝えることはできません。このことをご理解の上で申請してください。

※推薦を希望する場合、「志望校にチャレンジするチャンスが一度増える。」と考えている生徒が多く見受けられます。しかし、推薦が合格しやすいわけではなく、不合格になったときの精神的なダメージもあります。また、面接練習をしなければならず、勉強時間を削る必要もあります。本当に両立することができるかどうか、よく考えた上で希望を出してください。

(2) 特色選抜（該当する高校のみ）

特色選抜の募集定員は、その高等学校・学科の募集人員の20%程度までを上限として、高等学校長が定めます。

- ・希望は一人1校1学科のみです。
- ・推薦選抜、外国人生徒等選抜、全日制単位制選抜及び連携型選抜を併願することはできません。

出 願 資 格

下記の①～③までのいずれかに該当し、かつ、④に該当する者のうち、⑤～⑦までのいずれかに該当する者とする。

- ①中学校卒業生（過年度生）
- ②中学校卒業見込者
- ③学校教育法施行規則第95条各号のいずれかに該当する者
ただし、同条第1号又は第2号に該当する者については、令和9年3月に修了する見込みの者を含む。
- ④原則として保護者とともに県内に住所を有する者
- ⑤農業、工業、商業、水産、家庭、看護及び福祉に関する学科については、当該高等学校・学科の特色ある教育内容を理解し、その教育内容に関連する明確な進路目標と当該高等学校・学科で学習する強い意欲を有する者
- ⑥理数、体育、外国語及び国際関係に関する学科、総合学科並びにコースを設置するもしくは特色ある教育課程を有する普通科については、自然科学、人文・社会科学、スポーツなど特定の分野（コースの教育内容に関連する分野を含む）において優れた能力と顕著な実績を有する者
- ⑦地域に根ざし、地域貢献を特色とする高等学校については、当該高等学校で学習する強い意欲と地域社会に貢献する意志を有する者

※出願時に必ず「志願理由」を入力します。

※出願などの日程は、推薦選抜と同じです。

※特色選抜実施要項については、すでに各高校のHPにアップされています。

(3) 一般選抜

- ・2校受検することができですが、1校受検でもかまいません。
- ・2校受検し、2校とも合格圏内の場合、第1志望校が合格となります。そのため、志望校の順位は慎重に決めてください。
- ・普通科には「尾張1群・尾張2群・共通校」という高等学校があります。共通校については、組み合わせる相手の学校によって1群・2群が決まります。両方とも共通校の場合は、志願変更になる場合の相手校を含めて群を決めてください。
- ・出願登録期間 令和9年2月8日（月）～16日（火）
- ・志願変更 令和9年2月17日（水）
- ・受検票ダウンロード期間 令和9年2月8日（月）～16日（火）
- ・学力検査 令和9年2月24日（水）
- ・面接・特別検査 ※面接の時間は、学力検査日に分かります。

A グループ

令和 9 年 2 月 25 日（木）

B グループ

令和 9 年 2 月 26 日（金）

・ 合格発表

令和 9 年 3 月 8 日（月）10 時

① 合格者の決定について

・ 合格者の決定は、調査書・学力検査の成績・面接の結果等を資料として、総合的に判断されます。

・ 調査書情報の「学習の記録」の評定合計を 2 倍した数値を評定得点といいます。最高は 90 点です。ただし、音楽科、美術科、スポーツ科学科、国際英語科、国際教養科及び国際探究科については、次のとおり傾斜配点を行います。

音楽科については音楽を、美術科については美術を、スポーツ科学科については保健体育を、国際英語科、国際教養科及び国際探究科については外国語を、それぞれ 1.5 倍し、評定合計を 47.5 点とします。（評定得点が最高 95 点となります）

・ 学力検査を実施する 5 教科の配点は、それぞれ 22 点 とし、学力検査合計得点の最高は 110 点 です。ただし、国際英語科、国際教養科及び国際探究科並びに全日制単位制高校については、次のとおり傾斜配点を行います。

国際英語科、国際教養科及び国際探究科については、外国語（英語）の配点及び得点を 1.2 倍し、学力検査合計得点の最高を 114.4 点となります。また、全日制単位制高校については、5 教科のうち得点の高い 3 教科の配点及び得点を 2 倍した上で、傾斜配点を行った 3 教科の得点と傾斜配点を行わなかった他の 2 教科の得点の合計（最高 176 点）を、最高 110 点に換算します。

・ 校内順位の決定に際しては、各高校があらかじめ選択した I ～ V までのいずれかの方式によって得られた数値を基礎資料とした上で、先の資料などにより、総合的に行われます。

I …… 評定得点 + 学力検査合計得点

II …… (評定得点 × 1.5) + 学力検査合計得点

III …… 評定得点 + (学力検査合計得点 × 1.5)

IV …… (評定得点 × 2) + 学力検査合計得点

V …… 評定得点 + (学力検査合計得点 × 2)

※ I、II、III、IV、V の分類については、巻末資料を参考にしてください。

② 志願変更について

○すでに志願した高校または学科を 1 回に限り変更することが認められます。

・ 普通科においては、同一群内（第 1 群・第 2 群）に限り認められます。

・ 第 1 志望校・第 2 志望校のいずれかの 1 校 1 学科に限り認められます。

・ 志願変更を行う場合は、志望順位の変更が認められます。ただし、志望順位のみの変更はできません。

※志願変更を認める日時：令和 9 年 2 月 17 日（水）9 時から 15 時まで

※志願変更にかかわる手続きは、Webで行います。そのための手続きは、本人・保護者でお願いします。また、手続きを行った場合は、必ず中学校に連絡してください。中学校で確認・承認を行わなければいけません。手続きが間に合わない場合は、受検資格そのものがなくなってしまう場合があります。

③ その他

私立合格校の志望順位が公立第2志望校より上位の場合、公立第2志望の受検は慎重に考えてください。

(4) 特別検査

デザイン科（名古屋市立工芸高校のみ）、スポーツ科学科、音楽科及び美術科への入学を志願する者には、学力検査及び面接の他に特別検査があります。

① 実施日

【Aグループ】 令和9年2月25日（木）

【Bグループ】 令和9年2月26日（金）

② 検査場 出願先の高等学校

(5) 入学検定料

- ・ 公立受検する場合は、推薦・特色選抜で2,200円、一般選抜で2,200円となります。1回の検査で2,200円が必要になります。
- ・ 中学校で点検を行い、承認されると納付ができるようになります。納付方法はクレジットカード決済、Pay-easy（ペイジー）決済、コンビニ決済のいずれかの決済方式で納付してください。
- ・ 志願変更の場合、あらためて検定料を納入する必要はありません。

(6) 学力検査実施上の注意事項

- ・ 検査時間中、途中の退場は原則として認められません。
- ・ 持ち込める物は、「受検票」、用具（鉛筆、シャープペンシル、消しゴム、下敷き、鉛筆けずり用具、定規）及び時計です。
- ・ 用具は、受検にふさわしいごく普通（賞品・景品の類は避ける）のものです。
- ・ 下敷きは無地、定規は分度器のついていない棒状のものです。
- ・ 学力検査の公正を乱すおそれがあるため、スマートフォン等の情報通信機器や計算機能及び通信機能付きの時計の持ち込みは認められません。
- ・ 定規は、第1時限国語から第5時限外国語まで全ての教科において机の上に置くことができます。
- ・ 防寒着は普段中学校で着用しているものを検査中も着用することができます。ただし、検査中の着脱は、周りに迷惑がかからないように注意が必要です。また、着ていないときは、椅子の背もたれに掛けておきます。
- ・ 膝掛けや座布団、耳当て等の防寒具も必要に応じて使用することができます。なお、耳当てをしている受検者には、イヤホンなど装着していないかを確認するため、検査開始前に監督者が声掛けをすることがあります。
- ・ タオル、ハンカチ、目薬、ティッシュペーパーは、事前の申請なく検査場に持

ち込むことができます。ただし、ティッシュペーパーを机上に置くときは、袋や箱から中身だけ取り出します。また、ハンカチやタオルは無地のものが望ましいです。

- ・ティッシュペーパーのゴミを入れるための袋は、配慮申請が必要です。

(7) やむを得ない理由による遅刻者の対応

○高校の校長がやむを得ない理由により遅刻したと認めた場合

- ・第1時限の検査開始時刻20分以内（9：30までに入室）の遅刻者は、遅れた時間だけ終了時刻を遅らせて受検できます。第2時限以降の遅刻者は、検査開始時刻に間に合った教科のみ受検をし、受検できなかった教科は追検査を受けることになります。

○やむを得ない理由がない遅刻者

- ・第1時限の検査開始時刻より20分以内（9：30までに入室）に限り、受検が認められ、第一時限の終了時刻は一般の者と同じになります。それ以外の場合は、受検が認められないため「受検辞退届」の提出が必要です。

(8) 追検査 【追検査実施日：令和9年3月2日（火）】

- ・高校の校長が、やむを得ない理由により一般選抜の学力検査当日に受検できなくなったと認めた場合は、追検査を受検することができます。ただし、受検中の急病等による場合は、すでに受検した教科及び受検中の教科を除きます。
- ・追検査を希望する者は、Web出願システムによって、「追検査受検申請」の登録を行うとともに、診断書等の追検査を受ける理由を証明する書類の画像データを登録します。
- ・追検査の検査場は、第1志望の高校。実施日程は通常の学力検査に準じます。
- ・推薦選抜・特色選抜・外国人生徒等選抜・全日制単位制選抜・連携型選抜・第2次選抜・定時制課程・通信制課程では追検査は行いません。ただし、定時制課程及びフレキシブルハイスクールの通信制課程については、特別の追検査を実施します。
- ・追検査受検者の面接、特別検査は、原則として本来の面接、特別検査日に行われます。やむを得ない理由により追検査実施日に受検を希望する場合は、必ず中学校に申し出てください。
- ・追検査によっても5教科全ての学力検査を受検できなかった場合には、選抜の対象とはなりません。この場合は、「受検辞退届」の提出が必要です。

(9) 海外帰国生徒にかかる入学者選抜

- ・愛知県立昭和高等学校普通科、愛知県立中村高等学校普通科、名古屋市立名東高等学校国際英語科、愛知県立千種高等学校国際教養科、愛知県立津島高等学校国際探究科及び愛知県立刈谷北高等学校国際探究科において海外帰国生徒にかかる入学者選抜があります。
- ・海外帰国生徒選抜に出願する高等学校・学科を第1志望として、一般選抜にも出願するものとします。一般選抜と同日程で行われる選抜のため、学力検査は一般選抜と同じになります。面接は必ず行われます。一般選抜で面接検査のな

い学校であっても、海外帰国生徒選抜では面接検査を行います。

【出願資格】

- ア：保護者とともに県内に住所を有するもの、または愛知県教育委員会の出願に関する承認を受けた者
- イ：原則として継続して2年以上海外に保護者とともに在住していた者
- ウ：アの在住期間中、学校教育法施行規則第95条第1号または第2号に規定する学校教育を修めた者
- エ：令和7年3月1日以後に海外から帰国した者

【出願についての制限】

- ア：1校1学科に限り出願することができます。
- イ：海外帰国生徒選抜に出願する高等学校・学科を第1志望として、一般選抜にも出願するものとします。
- ウ：一般選抜において第2志望校へ出願することができます。

(10) 外国人生徒等にかかる入学者選抜

- ・愛知県立名古屋南高等学校普通科、愛知県立小牧高等学校普通科、愛知県立東浦高等学校普通科、愛知県立豊田工科高等学校工業科、愛知県立豊川工科高等学校工業科、愛知県立中川青和高等学校キャリアビジネス科、愛知県立岩倉総合高等学校総合学科、愛知県立知立高等学校総合学科及び愛知県立豊橋西高等学校総合学科において外国人生徒等にかかる入学者選抜があります。

【出願資格】

- ア：外国籍を有する者、又は保護者が外国籍を有する者など特別な事情があると認められる者
- イ：小学校第4学年以上の学年に編入学したもの、若しくは第3学年以下の学年に編入学し、特別な事情があると認められる者、又は入国後の在日期間が6年以内の者

【出願についての制限】

- ア：1校1学科に限り出願することができます。
- イ：外国人生徒等選抜と、推薦選抜、特色選抜、全日制単位制選抜及び連携型選抜を併願することはできません。

(11) 全日制単位制高等学校にかかる入学者選抜

- ・愛知県立守山高等学校普通科、愛知県立武豊高等学校普通科、愛知県立佐屋高等学校農業科及び家庭科並びに愛知県立中川青和高等学校キャリアビジネス科において実施されます。

①募集人員

- ・定員は、当該高等学校・学科の募集人員の20%程度までを上限として、高等学校長が定めます。

②出願資格

- ・一般選抜への出願資格に加えて、中学校の第2学年、第3学年のいずれかの学年または両方のそれぞれの学年における欠席日数が年間30日程度以上の者。
「年間30日程度以上の欠席日数」には、生徒指導要録上は出席扱いとなってい

る保健室登校等の別室登校の日数や、適応指導教室等の学校外の施設で相談したり、指導を受けたりした日数、自宅でＩＣＴ等を活用して学習活動を行った日数を含めることができます。

- ・出願時に、必ず「欠席に関する自己申告」を登録すること。

③出願についての制限

- ・１校１学科に限り出願することができます。
- ・推薦選抜、特色選抜、外国人生徒等選抜及び連携型選抜と併願することはできません。

(12) 第２次選抜

【出願条件】

- ・第２次選抜は、合格者が募集人員に満たない高校・学科で行われます。必ず行われる保障はありません。
- ・第２次選抜の出願資格は、愛知県内の国公立いずれかの高校に入学を志願、受験し、いずれの高校にも合格しなかった者に限ります。
専修学校の可否は関係しません。
- ・専修学校のみを受験で不合格の場合は全日制課程には出願できません。ただし、定時制課程、通信制課程（フレキシブルハイスクール）は出願できます。
- ・私立高校において入学手続きを行わず、合格を取り消された者や、公立高校を合格辞退した者については、出願資格はありません。
- ・全日制過程の第２次選抜、定時制課程の第２次選抜、フレキシブルハイスクールの通信制過程の第２次選抜及び通信制過程の後期選抜は、いずれも併願できません。

【入学検査】

- ・作文、学力検査Ⅰ（国語、数学及び外国語〔英語〕の基礎的な内容。ただし、外国語〔英語〕の聞き取り検査はありません。）、学力検査Ⅱ（社会及び理科の基礎的な内容。）及び面接です。
デザイン科（名古屋市立工芸高等学校のみ）、スポーツ科学科、音楽家及び美術家への入学を志願する者に対しては、上記のほかに特別検査を行います。

(13) 欠席に関する自己申告

- ・中学校の第２学年、第３学年のいずれかの学年又は両方のそれぞれの学年における欠席日数が年間30日程度以上の入学志願者のうち**希望する者は、Web出願システムにより登録します。**
「年間30日程度以上の欠席日数」には、生徒指導要録上は出席扱いとなっている保健室登校等の別室登校の日数や、適応指導教室等の学校外の施設で相談したり、指導を受けたりした日数、自宅でＩＣＴ等を活用して学習活動を行った日数を含めることができます。
- ・全日制単位制選抜に出願する者は、必ず登録しなければなりません。中学校生活の状況、志望の動機、高校生活への抱負などを登録します。

(14) **長期欠席者等にかかわる選抜方法申請**

- ・全日制課程一般選抜、定時制課程並びに通信制課程（刈谷東・旭陵）の前期・後期選抜及び通信制課程（フレキシブルハイスクール）において、全ての高等学校・学科で行われます。
- ・この選抜方法を申請できる者は、次のア・イのいずれかに該当し、かつ、ウに該当する者としてします。

ア 中学校卒業生（過年度生）

イ 令和9年3月に中学校卒業見込みの者。

ウ やむを得ない事情により、第3学年の欠席日数が出席すべき日数の半分以上である者。ただし、「第3学年の欠席日数」には、生徒指導要録上は出席扱いとなっている保健室登校等の別室登校の日数や、適応指導教室等の学校外の施設で相談したり、指導を受けたりした日数、自宅でICT等を活用して学習活動を行った日数を含めることができます。

- ・この選抜の適用を申請した受検者に対しては、個人面接が実施されます。（ただし、全日制課程一般選抜においては、面接を行う高校・学科のみ。）

(15) **障害等のある志願者に対する受検上の配慮について**

- ・障害等（病気または事故による負傷を含む）により、学力検査及び面接において特別な配慮を受けたい入学志願者は、出願期間中に、Web出願システムによって、「受検配慮申請」を登録してください。登録する内容は、個別にお伝えします。
- ・受検上の配慮を希望する場合には、事前に担任に相談してください。（私立高校の受験にも関係するため。）
- ・医療的ケアや設備面を含む特別な配慮が必要な場合は、中学校から高校に相談をします。
- ・受験配慮申請を行う者のうち、希望する者は、中学校生活の状況、志望動機、高校生活への抱負などについての自己申告を登録することができます。

(16) **その他**

- ・入学者選抜時に「特別警報」が発表された場合には、直ちに学力検査、面接等の入学者選抜は停止されます。
- ・このことについて、中学校は、公立高校を受検する生徒や保護者にお知らせします。
- ・高校は、生命・安全の確保のため受検者を校内に留め置くため、中学校は、受検者を保護者に引き渡すために高校と連絡調整します。
- ・「特別警報」に位置づけられる「緊急地震速報（震度6弱以上）」が発表された場合には、地震が実際に発生した時点で対応します。
- ・「南海トラフ地震臨時情報（調査中）」が入学者選抜時に発表された場合は、その後の情報の発表に注意し、予定された入学者選抜を実施します。
- ・「南海トラフ地震臨時情報（巨大地震警戒）」が発表された場合は、愛知県教育

委員会の指示により、入学者選抜が停止されることがあります。

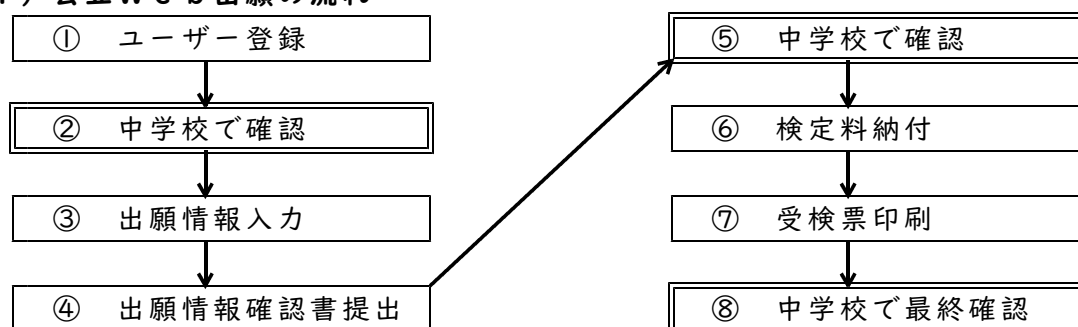
上記の（７）～（１５）については、

中学校へ必ずご連絡ください。

7 公立Web出願について

公立高等学校入学者選抜もWeb出願です。

（１）公立Web出願の流れ



- ① 12月の中旬頃からユーザー登録ができます。愛知県教育委員会のHPにマニュアルがアップロードされます。期間内に必ず行ってください。
- ② ユーザー登録ができているか、生年月日やクラス番号、出席番号など間違いがないか中学校で点検します。間違いがありましたら、「差戻」などをWeb上で行い、保護者に電話連絡をしますので、修正をお願いします。修正が完了しましたら、中学校に電話連絡をお願いします。このユーザー登録が間違いなくできていないと出願できません。
- ③ ユーザー登録が終了し、各選抜の出願期間になった時に、各自出願をしてもらいます。自分の受検校を選択し、登録を行います。
- ④ 出願情報登録完了後、「出願情報確認書」をダウンロードして印刷をし、中学校に提出してください。
- ⑤ 「出願情報確認書」を中学校で確認をします。本人住所や選抜種別、入力されている受検校など、登録内容に間違いがないかを点検します。間違いがあった場合は、「差戻」を行います。
- ⑥ 中学校より点検済みの「出願情報確認書」が返却されたら、入学検定料を納付してください。ここまでを「出願登録期間」中に行います。期間中にできない場合は、受検できません。
- ⑦ 高校に承認を受けると、受検票が印刷できます。受検票と新しく印刷した「出願情報確認書」を中学校に提出してください。必ずダウンロードした受検票データは保存してください。万が一、受検票をなくしてもデータを保存してあれば再び印刷ができます。
- ⑧ 提出された書類の最終点検をし、受検票のみ返却します。受検日に持参し、合格発表があるまで大切に保管してください。

(2) 注意事項

- ・住所の入力に関して、正式書類のため「○丁目△番地の□」ように入力してください。「丁目」は漢数字で「一丁目」のように入力をしてください。
- ・「差戻」があった場合、登録したメールアドレスに通知が届きます。内容を確認していただき、訂正を行ってください。
- ・Webシステムにログインするたびに、ワンタイムパスワードが登録したメールアドレスに送られます。すぐに見られるアドレスを登録してください。
- ・携帯電話のアドレスを登録した場合、高校に入学するまでは、機種変更等にもなってアドレスが変更されないようご注意ください。
- ・出願の際に必要な書類は、原則、画像データとして出願システムに登録します。画像データを添付するときに、間違ったデータを添付しないようご注意ください。

8 定時制高校・通信制高校・フレキシブルハイスクール

【定時制課程】

- ・定時制には、昼間定時制と夜間定時制があります。
- ・1校1学科に限り出願できます。
- ・全日制課程推薦選抜、特色選抜、一般選抜、海外帰国生徒選抜、外国人生徒等選抜、全日制単位制選抜及び連携型選抜並びに通信制課程（フレキシブルハイスクール）とは併願できません。
- ・定時制は、一般的には4年で卒業しますが、本人の努力により必要単位を習得すれば、3年で卒業することも可能です。
- ・入学検定料は、950円です。

① 入学者選抜の方法

- ・入学志願者全員、面接があります。ただし、長期欠席者等にかかる選抜方法の適用者に対しては、個人面接となります。
- ・高等学校長は、合否判定のための十分な資料を得るため、作文及び基礎学力検査又はそのいずれかを行うことができます。
- ・作文は、文章の長さが200字以上、400字以下です。
- ・基礎学力検査は、国語、数学及び英語の基礎的な内容となります。

② 外国人生徒等にかかる受検上の配慮を希望する者

- ・外国籍を有する者または保護者が外国籍を有するなど特別な事情があると認められる者や小学校第4学年以上の学年に編入学した者もしくは第3学年以下の学年に編入学し、特別な事情があると認められる者又は入国後の在日期间が6年以内の者は、外国人生徒等受験配慮申請を登録することができる。
- ・申請が提出された場合の措置
 - ※基礎学力検査については、漢字にルビを付した問題によって行う。
 - ※面接については個人面接で行う。

③ 定時制選抜

出願登録期間	令和9年1月28日(木)～2月4日(木)
志願変更	令和9年2月5日(金)
受検票ダウンロード期間	令和9年1月28日(木)～2月4日(木)
入学検査・面接	令和9年2月12日(金)
合格発表	令和9年2月18日(木) 10時

④ 第2次選抜

- ・第2次選抜は、合格者が募集人員に満たない高校・学科で行われます。必ず行われる保障はありません。
- ・第2次選抜を実施する高等学校・学科及び第2次選抜募集人員の発表は、令和9年2月18日(木)に行われます。

【出願資格】

- ・第2次選抜全ての課程においての出願資格は、愛知県内の国公立いずれかの高校に入学を受験し、いずれの高校にも合格しなかった者または愛知県内の国公立のいずれの高等学校も受検していない者。

※出願期間	令和9年3月4日(木)～11日(木) 15時まで
※志願変更	令和9年3月12日(金) 9時～15時まで
※入学検査日	令和9年3月16日(火)
※合格発表	令和9年3月17日(水) 10時

【通信制】

(刈谷東高等学校・旭陵高等学校)

- ・通信制は、3年以上かけて必要単位を習得すれば卒業できます。
- ・入学検査については、学力検査を行いません。ただし、合否判定のための十分な資料を得るため作文及び面接又はそのいずれかを行うことがあります。
- ・通信制前期選抜の合格者は、全日制課程推薦選抜・特色選抜・一般選抜・海外帰国生徒選抜・外国人生徒等選抜・全日制単位制選抜並びに定時制課程と愛知県立旭陵高等学校、愛知県立刈谷東高等学校の通信制課程後期選抜に出願することはできません。ただし、フレキシブルハイスクールの通信制課程には、出願できます。
- ・欠席に関する自己申告や、長期欠席者等選抜申請は、希望者のみです。
- ・外国人生徒等受検配慮申請を希望する者は登録をする。この配慮を申請できる者の条件は、定時制課程と同じです。

・入学検定料は、必要ありません。

① 前期選抜

出願登録期間	令和9年1月12日(火)～19日(火)
受検票ダウンロード期間	令和9年1月12日(火)～19日(火)
面接	令和9年1月24日(日)
合格発表	令和9年1月27日(水) 10時

② 後期選抜

出願登録期間	令和9年3月11日（木）～18日（木）
受検票ダウンロード期間	令和9年3月11日（木）～18日（木）
面接	令和9年3月23日（火）
合格発表	令和9年3月24日（水） 12時

（フレキシブルハイスクール）

- ・愛知県立佐屋高等学校、愛知県立武豊高等学校、愛知県立豊野高等学校及び愛知県立御津あおば高等学校で行われる、新しいタイプの高等学校です。
- ・全日制課程、昼間定時制課程、通信制課程があります。
- ・全日制課程は全日制選抜、昼間定時制課程は定時制選抜、通信制課程はフレキシブルハイスクールの選抜日程で受検します。通信制課程の選抜日程は、刈谷東高等学校や旭陵高等学校と日程が異なります。
- ・他の課程に「転籍」が可能で、同じ学校で学び続けることが可能な高等学校です。
- ・「併修」制度によって、在籍する課程とは異なる課程の科目を履修し、単位を取得することが可能です。

	佐屋高校	武豊高校	豊野高校	御津あおば高校
全日制	農業科・家庭科	普通科	普通科	普通科
定時制	各学校普通科 20人			
通信制	各学校普通科 40人			

① 出願制限

- ・1校1学科に限り出願することができます。
- ・推薦選抜、特色選抜、一般選抜、海外帰国生徒選抜、外国人生徒等選抜、全日制単位制選抜及び連携型選抜並びに定時制課程と併願することはできません。

② 入学者選抜の方法

- ・面接、作文及び基礎学力検査またはそのいずれか一つもしくは二つを行うことができます。
- ・作文は、文章の長さが200字以上、400字以下です。
- ・基礎学力検査は、国語、数学及び外国語（英語）の基礎的な内容となります。配点は、作文20点、基礎学力検査30点です。

③ 出 願

出願登録期間	令和9年1月28日（木）～2月4日（水）
受検票ダウンロード期間	令和9年1月28日（木）～2月4日（水）
検査日	令和9年2月12日（金）
合格発表	令和9年2月18日（木） 10時

9 高等専門学校・国立高等学校

① 国立豊田工業高等専門学校

【推薦選抜】

Web出願受付	令和8年	12月1日（火）～17日（木）
郵送書類受付	令和8年	12月14日（月）～18日（金）
検査日	令和9年	1月9日（土）
合格内定者発表日	令和9年	1月15日（金）10時

【学力検査選抜】

Web出願受付	令和8年12月1日（月）～令和9年1月21日（木）
郵送書類受付	令和9年1月18日（月）～22日（金）
検査日	令和9年 2月14日（日）
合格者発表日（web）	令和9年 2月17日（水）10時
合格者オリエンテーション	令和9年 3月8日（月）

② 名古屋大学教育学部附属高校

【特別推薦枠】

出願登録期間	令和8年	12月7日（月）～19日（土）
出願書類受付（郵送）	令和8年	12月16日（水）～23日（水）
（持参）	令和8年	12月23日（水） 9時～17時
1次審査発表	令和8年	12月25日（金）15時
2次審査	令和9年	1月11日（月・祝）
合格発表（web）	令和9年	1月15日（金）15時

【一般】

出願登録期間	令和8年	12月7日（月）～22日（火）
出願書類受付（郵送）	令和8年	12月16日（水）～24日（木）
（持参）	令和8年	12月23日（水）～24日（木） 9時～17時
検査日	令和9年	1月19日（火）
合格発表（web）	令和9年	1月22日（金）15時

※「帰国生徒」に関する入試は、一般と同じ日程です。

③ 愛知教育大学附属高校

【推薦選抜】

志願者登録期間	令和8年	12月9日（水）10時～
出願期間	令和9年	1月6日（水）～8日（金）15時
検定日	令和9年	1月13日（水）
合格発表（web）	令和9年	1月14日（木）9時

【一般選抜】

志願者登録期間	令和8年	12月9日（水）10時～
出願期間	令和9年	1月8日（金）～19日（火）15時
検定日	令和9年	1月26日（火）
合格発表（web）	令和9年	1月29日（金）9時

※「海外帰国生徒選抜」は、一般と同じ日程です。

10 今年度の私立高校、専修学校、公立高校の主な変更点

① 私立高校

- ・ 享栄高等学校
 - ※ CPコース→特別進学コース、Cコース→総合コース、機械科→工業科へ、名称が変更されました。
- ・ 中部大学第一高等学校
 - ※ 特進コースと一貫コースが、一括募集となりました。
- ・ 清林館高等学校
 - ※ 文理特進コースと文理選抜コースが、文理コースに統一されました。
- ・ 愛知啓成高等学校
 - ※ スポーツコースが削除されました。
- ・ 藤ノ花女子高等学校
 - ※ 特進コースが削除されました。
- ・ 椋山女学園高等学校
 - ※ 特色入試が新設されました。

② 専修学校

- ・ ビューティ・デザイン・デンタルカレッジが追加されました。

③ 公立高校

- ・ 調査書情報から、「性別」「行動の記録」「出欠の記録」が削除されました。
- ・ 推薦選抜・一般選抜における特別検査
 - ※ 陸上競技：「立ち幅跳び」が「走り幅跳び」に変更されました。
 - ※ 美術科 が追加されました。